東秩父中学校だより

村の宝（子ども）が輝く学校

令和８年９月１日
第　６　号
文責　田端　隆二

小規模校だからこそ　～2学期始業式より～

まだ暑い日は続きそうですが、2学期始業式を迎えました。

約40日間の長い長期休みを終え、元気な皆さんに会えてとてもうれしく思います。

皆さんはこの夏休みをどのように過ごしたでしょうか？楽しかったこと、大変だったこと等、色々思い出し、振り返ってみてこれからのエネルギーにしてください。

さて、私の夏休みの一番の思い出は、夏休みに入ってすぐ、皆さんと食べた流しそうめんです。

ことの発端は、2年生のある生徒と校長室の前での雑談の中の「校長先生、私、全校で流しそうめんをやってみたいです」との一言です。即座に私は「面白いな。条件がそろえば実現できるかもしれない。できるかどうかやってみよう！」と答えました。

私はこの提案は、とてもうれしかったです。それは、提案してくれた生徒が、どんな内容であれ、自分の想いや願いを表現し、発信してくれたからです。そして私は常々「楽しいことをするから人が集まる集団より、みんなで何かするから楽しい集団」であってほしいと願っています。ですから提案してくれた生徒の「全校でやりたい」というところにはとても共感しました。さらには、大きな学校ではできないだろうけど、今の東秩父中学校ならできる。まさに本校でしかできない活動だとも思いました。

そして、栄養教諭や用務員、文化部の人たち、その他多くの人の協力を得て、実現することができました。このことをある卒業生に話したら、「たった一人の生徒の意見が生かされる学校っていいですね」と言ってくれました。このコメントも大変嬉しかったので紹介します。

ところで、以前私は皆さんへ、「利己から利他への変化が人としての成長の物差しの一つ」と話しました。皆さんは、成長と共に全体の利益につながる様々な願い、想いを持てるようになってきているのを実感します。実現できるかどうかは別として、願ったことはどんなことでも、ぜひ発信してみてください。

さて、話は変わりますが最近本校に関しては生徒数の減少が話題になります。村の中には「人数が少なくてかわいそうだから小川町の学校へ通わせた方がいい」という人もいるようです。「生徒数の多い学校と同じような活動はできないから」とか、「この学校にいては多くの人と関われないから」というようなことが理由のようですが、私は決してそうは思いません。

確かに大きな学校と同じにできないことはたくさんあります。しかし、先ほど挙げたように大きな学校にはできないこと、本校の様に小さな学校でしかできないこともたくさんあるのです。また、できなければみんなでできる工夫、方法を考えていけばいいのです。

人とのかかわりもそう。人間関係はただ多ければいいのでしょうか？これについても私はそうは思いません。私はこの学校の様々な活動の中で、皆さん生徒同士の関係、先生方と皆さんとの関係、他の学校では築けない関係が築かれていると思います。

本校の活動は、ウェルビーイングの四つの因子「やってみよう因子」「ありがとう因子」「何とかなる因子」「あるがまま因子」のすべての因子を高めることができ、学校としてのウェルビーイング、一人一人のウェルビーイングの向上につながっていると確信しています。

他の学校にはない「心の豊かさ」を育てることができると思います。

2学期は行事が盛りだくさん。一つ一つを充実させ、小規模校という「弱み」を「強み」に変え、学校としても個人としてもみんなで成長していきましょう。期待しています。以上です。

陸上比企地区代表健闘しました

～学校総合体育大会陸上県大会～

　7月18・19日、学校総合体育大会陸上の県大会が熊谷のスポーツ文化公園で行われ、1年生一名が女子100m ハードルに、2年生一名が男子砲丸投げに出場しました。どちらもベスト記録を更新し、奮闘してくれました。





思い出の流しそうめん！

　巻頭言に書いた流しそうめんです。7月21日に行いました。これからも様々な活動を「みんなでやるから楽しい」という学校であってほしいと願います。また、8月5日には昨年度も行いましたが恒例の手打ちうどん作りを行いました。今年は昨年度より上手にできたと思います。







西部地区代表人権作文～西部地区人権教育実践報告会～





　7月24日所沢市民文化センターミューズにおいて、西部地区人権教育実践報告会が行われました。開会にあたり3年生の代表生徒が中学生代表として人権作文を披露しました。とても大きなホールで2000席がほぼ埋まる大勢の人たちに向かい、「一人一人と向き合う世界」と題した作文を堂々と読み上げました。この作文は、埼玉県の人権作文集「はばたき」に掲載されるほか、比企地区の人権教育関係の冊子にも掲載されます。おめでとうございます。

ふれあい奉仕作業

　夏休みも終了間際の8月29日、天気が心配されましたが、早朝より PTA のふれあい奉仕作業が行われました。おかげさまでとても気持ちよく2学期を迎えることができました。改めて御礼申し上げます。今年は初の試みで作業後にかき氷をみんなで食べました。これも小規模校だからこそできる活動です。ありがとうございました。





